

1. 件名:MHI 原子力研究開発株式会社の核燃料物質使用変更許可申請に係る現地確認

2. 日 時:令和 5 年 11 月 8 日(水) 13 時 30 分～17 時 10 分

3. 場 所:MHI 原子力研究開発株式会社

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

本多主任安全審査官、瀬尾係員

MHI 原子力研究開発株式会社

取締役原子力 3S 統括者、安全管理部長 他 4 名

5. 要 旨

(1)MHI 原子力研究開発株式会社(以下「NDC」という。)から、令和 5 年 6 月 23 日付けで申請があった、NDC の核燃料物質使用変更許可申請書(以下「本申請」という。)に関し、燃料ホットラボ施設、ウラン実験施設及び燃料実験施設について、現地確認を行った。

(2)また、原子力規制庁から、本申請の内容に関して、主に以下の点を指摘した。

○燃料実験施設の管理区域境界の線量評価結果について、既許可から評価の前提条件に変更はないが、1F 燃料デブリに係る記載が削除されている理由を説明すること。

○周辺監視区域境界の線量評価について、評価点における線量の算出方法を説明すること。

(3)NDC から、以下のとおり説明があった。

○燃料実験施設の管理区域境界の線量評価結果について、本申請における線量評価の前提条件は、既許可から変更はないため、1F 燃料デブリに係る記載も含め補正申請において、正確に記載する。

○周辺監視区域境界の線量評価について、評価点に最も近い施設からの寄与に加えて、当該評価点に対して、NDC の他の使用施設等からの寄与を踏まえた評価となっている。

6. 配布資料

なし

以上